

令和6年度森林づくり県民税活用事業について

森林政策課

[令和6年度当初予算要求のポイント]

- 第4期森林税の2年目として、基本方針に示す各柱の取組をさらに加速化し、目標達成に向けて必要となる額を要求
 - ① 森林の若返り促進のため、新たな課題を踏まえた支援策を拡充・実施し、再造林を推進
 - ② 県民が広く親しめる里山づくりの支援や多くの県民等が里山に親しむための情報発信
 - ③ 健康・教育・観光などに森林を活用する森林サービス産業の推進体制整備と創業等の支援
 - ④ 主伐・再造林推進のため、兼業や短期雇用の推進による多様な担い手の確保・育成
 - ⑤ 河川沿いの支障木伐採やライフライン保全対策、野生動物による被害防止のための緩衝帯整備などに係る市町村の取組の支援

1 予算要求額

768,584 千円（基金繰入金）（令和5年度当初予算額：624,870 千円）前年度比 123.0%

（単位：千円）

基本方針の柱	令和6年度 要求額	令和5年度 当初予算額	増減額
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり	330,780	241,800	88,980
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる 環境づくり	153,162	129,390	23,772
III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業 体への支援	60,766	39,593	21,173
IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の 解決	215,350	205,887	9,463
V 普及啓発、評価検証	8,526	8,200	326
合計	768,584	624,870	143,714

2 主な事業

（1）信州の森林づくり事業（人工造林・初期保育の嵩上げ）等

主伐・再造林等の加速化を図るため、人工造林や初期保育に加えて作業の省力化、植栽木の野生動物被害対策等に対する支援

◆ 要求額 174,580 千円（対前年+80,980 千円）

（2）開かれた里山の整備・利用推進事業

より多くの県民が里山の森林に親しむことができるよう「開かれた里山」の整備の推進

◆ 要求額 23,472 千円（対前年+2,282 千円）

（3）森林サービス産業総合対策事業

森林を活用した新たなビジネスの起業支援 等

◆ 要求額 39,561 千円（前年比+39,561 千円）

（4）市町村森林整備支援事業

ライフライン沿いの支障木伐採や緩衝帯の整備など地域の課題に対して支援

◆ 要求額 175,300 千円（前年比+8,788 千円）